

牧水創刊の「創作」3月で 終刊

明治43年から営々109年目



牧水が明治43年に創刊し営々と発行してきた「創作」

若山牧水が明治43（1910）年に創刊した短歌誌「創作」が3月号で終刊することになった。9月に終刊記念号を発行するという。

牧水の没後、発行は妻喜志子・長谷川銀作（喜志子の妹潮みどりの夫）―旅人（牧水の長男）―富士人（同次男）―とみ子（富士人の妻）と受け継がれてきた。

平成17年に終刊が危ぶまれたが、牧水の孫（旅人氏の長男）の若山聚一（しゅいち）さん、榎本肇子（むらこ）さん（旅人氏の長女、沼津市若山牧水記念館館長）が中心

となって復刊。同25年に歌壇の祝福を受けて「創作100巻記念号」を発

刊した。短歌結社の多くは会員の減少、高齢化などで運営が難しくなっている。「創作」は平成26年から月刊を隔月刊としていた。聚一さんは終刊せざ

るを得ないことを今年1月号で発表し「社友の多くは高齢の方が多く、退社される方が相次ぎ、ついに経営的にも継続が難しい状態になってしまいました」と説明している。